2011.1／No.922
発行／熊本県長洲町　編集／まちづくり課
URL http://www.town.nagasu.lg.jp/
〒869-0198 熊本県玉名郡長洲町大字長洲2766
☎0968（78）3111

Home

～長洲町に生まれて～

この町で生まれ、この町で育ち、そして今、故郷・長洲町を想う…。このコーナーでは、様々な分野の第一線で活躍する長洲町出身の人を紹介します。

一般社団法人
日本小動物獣医師会　会長
山本 精治 さん
Yamamoto Seiji

PROFILE 1952年1月30日生まれ。出町区出身。長洲小、長洲中、県立玉名高校卒業後、日本大学獣医学科入学。大学卒業後、国内の動物病院やアメリカでの研修を経て82年4月、千葉県千葉市（現在地）に「山本動物病院」を開院。97年から千葉市獣医師会会長、日本小動物獣医師会理事を務め、2004年千葉県獣医師会副会長就任。09年に日本小動物獣医師会会長就任し、現在に至る。趣味はカラオケ、ドラマ鑑賞。座右の銘は「大胆にしてかつ繊細に」。千葉市在住。58歳。

コンパニオンアニマル―。従来の「ペット」のことで、最近は社会環境の変化に伴い、その存在意義や役割が見直され、家族の一員として位置づけられるようになった動物たち。今回は、人間医療と同じように発展が目覚ましい獣医学界において、全国の小動物獣医師のトップとして、国内に限らず世界を舞台に活躍する、出町区出身の山本精治さんをご紹介します。

獣医師として奔走する日々

「小さいころから犬や猫、九官鳥や金魚まで常に動物が家にいました。病気になったりすると、子どもながらに『どうにかしてあげたい、守ってあげたい』と思っていましたね」

動物好きの父 卓也さんと医師だった祖父 寅喜さんのDNAを受け継ぎ、獣医師の道へ。大学卒業後、兵庫、群馬やアメリカなどでの研修を積み、30歳の時、千葉市に開院。

医院を経営する傍ら、千葉市獣医師会長、県獣医師会副会長、日本小動物獣医師会理事と「3足のわらじ」で奔走した時期も。その中でも力を入れていた一つが『学校飼育動物事業』。

「核家族化が進んだことで、家族の死に立ち会うことが減り、自分の大切な人が亡くなるということがわからない子どもが多かったんです。動物を学校で飼うことで、誰かや何かを大切に思う気持ちが、高齢者を卑下したり、非行に走ったりすることを防げるのではと思いました」と当時の思いを語る。

日本小動物獣医師会の会長に就任したのは、09年57歳の時。若くしての就任に「苦労もあった」と振り返る。「でも現役だからこそ現場がわかる強みを生かそうと思った」と、現在は全国の小動物獣医師約5000人をまとめ、日本の代表として世界を舞台に活躍する。

会では、医療技術の向上や治療における獣医事問題などについて情報交換を行い、会員のレベルアップに努めている。また、世界の小動物獣医界をアメリカ、ヨーロッパと共に引っ張っていくため、アジアにおける組織づくりに力を注ぎ、獣医師の社会的地位の認知と向上のため挑み続けている。

世界を股にかける一方で、医院ではこれまでも動物や飼い主に真摯（しんし）に向き合ってきた。

「治療は、動物の命を預かること。誠意をもって、信頼関係を築くことを心がけてきました」。だからこそ「動物の病気を治すことができた時はもちろん、不幸にも亡くなった時でも、飼い主からの『最後までありがとうございました』の言葉はうれしい」と優しい表情をのぞかせる。

変わらない故郷への思い

「関東でやっていこうと決めた時、近くに海があることが条件でした。海がある町で育ったからかな」とほほ笑む。

「故郷には、昔と変わらない景色が残っています。自然を守り、田舎のよさを残してほしい」と願っている。

故郷を離れて以来40年、今も思いは変わらない。

「人口が減って、高齢者が多くなれば、活気のあるまちづくりも難しくなります。それでも一人一人が自分のため、町のために何かをしようという気持ちがあれば、もっと町はよくなるのでは」。大切な故郷に期待を込めた。

■印　刷／株式会社有明印刷
※この広報紙は地域環境にやさしい植物油型インキを使用しています。
古紙配合率100％再生紙を使用しています